

**京大URA報告**  
**「京大の10年後の姿をイメージして」**

**02.地域・文化を越える「国際」**

May 29, 2017

京都大学 学術研究支援室

**鮎川 慧**

*KURA*

## 「地域・文化を越える」

「地域・文化を越える」ために取り組むべき4つのミッション



A 国際共同研究の推進



B 世界の研究大学との交流の促進・深化



C 海外研究活動の充実



D 海外研究者の派遣・受入体制強化

# 京大の国際化推進のためのKURAの5つのアプローチ



- 質の高い国際共同研究の推進
- 京都大学の研究環境の国際化

- 5つを組み合わせることでプロジェクト形成から成果発信までを一体的に支援
- 国際戦略本部や他部署と連携

# 5つのアプローチ

1

## 国際型学内ファンドの企画・運営



研究推進課 研究戦略掛

A 国際共同研究の推進

B 世界の研究大学との交流

ニーズを反映させながら学内ファンドの設計と運営を行い、  
国際共同研究の推進を支援

### 研究資金支援

- 国際共同研究の基盤形成 “SPIRITS (国際型)”
- 英文校閲費支援 “みがき”

### 人材交流支援

- 研究者派遣 “ジョン万プログラム”
- 学生受入 “WILD & WISE”

外部資金を  
利用した  
研究活動の  
展開

## 2

### 海外ファンド獲得支援



研究推進課 研究助成掛

A 国際共同研究の推進

大型の海外ファンドの獲得支援とともに、  
プレアワードとポストアワードの支援体制を拡充

- 大型海外ファンド  
(NIH、AXA Research Fund、Horizon 2020、Human Frontier Science Programなど)
- 説明会の開催
- 申請書のブラッシュアップ
- Funding agencyとのネットワーク形成
- 本部事務と連携した学内の受け入れ体制の整備

# 5つのアプローチ

## 3

### 国際シンポジウムやコンソーシアムを通じた機会創出・戦略的な交流



国際交流課

A 国際共同研究の推進

B 世界の研究大学との交流

研究グループの形成、共同研究のさらなる発展を目指して、  
全学国際シンポジウムを開催

- 2013-2016年 トップダウン型（大学間）
  - 研究者交流や研究マッチング
  - 文学から医学に至るまで幅広い分野
  - 世界トップクラスの13大学と計11回開催
  - のべ1100人を超える研究者が参加
  - 研究グループの形成、共同研究の進展
- 2016年-現在 ボトムアップ型（分野別）
  - 研究分野をフォーカス
  - 分野毎に相手校を選び、年間6回程度開催

# 5つのアプローチ

## 4

### 海外拠点の運営・活動



企画課 国際戦略掛

C 海外研究活動の充実

全学海外拠点に駐在し、海外機関との地域内にとどまらない  
学術交流、国際共同研究を強化

欧州拠点(ハイデルベルクオフィス)

KURA

ASEAN拠点

- ASEAN拠点：日ASEAN科学技術イノベーションプラットフォームの立ち上げ、東南アジアとの連携強化
- 欧州拠点：日独6大学ネットワークの交流の促進、欧州との連携強化

拠点の4つのミッション

- 研究活動の支援
- 教育活動の支援
- 教職員・学生の国際化促進
- 広報・社会連携・ネットワーク形成

## 5

### 外国人研究者支援



研究推進課 研究助成掛

C 海外研究者の受入体制強化

学内の外国人研究者をバックアップし、あらゆる研究者の研究環境を整備

- 英語による情報発信
- 英語による説明会の開催
- 外部資金の申請書ブラッシュアップ
- 学内の体制整備



# 10年後、国際化のさらなる進展を目指して・・・

これまでの基本方針を継承・発展させ、京大の国際プレゼンスとレピュテーションのさらなる向上に貢献

## 重点アクション

- エビデンス・戦略に基づく国際シンポジウムの設計と質の向上
- 新たに設置される拠点も含めた海外拠点のさらなる活用
- 研究成果の国際発信の強化

URAは変動する時代に応じた課題・ニーズを発見し、国内外にアンテナを張り、ネットワークを活用して、  
**常に一步先を行く解決策を提案**